

### ④救出・救護活動

- 救出・救護が必要な場合は、救出・救護班を中心に地域の住民や事業所が協力し合って活動する。
- フォークリフトやバール等、救助に活用できる有用な資機材は日頃から所有者や事業所に相談しておく。



### ⑤避難行動

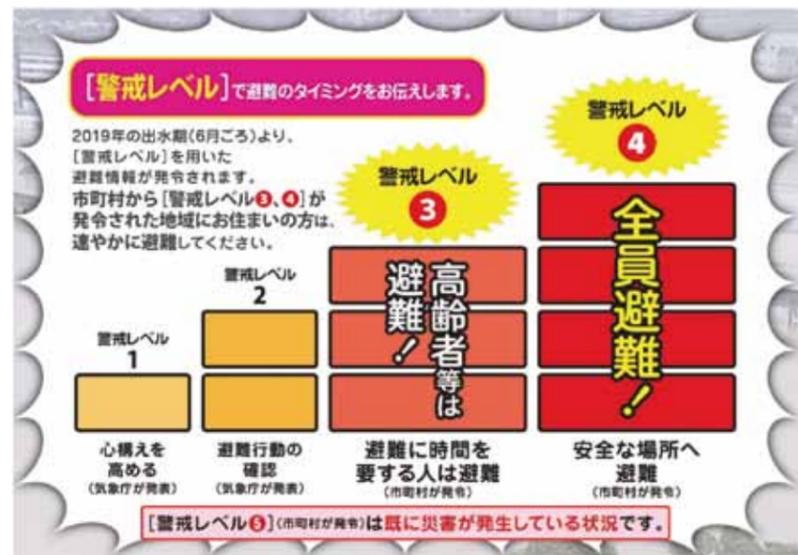
- 町会別集合場所へ集合した住民のうち、家屋の倒壊などで自宅での生活ができない住民は、避難者名簿を作成し災害時避難所の野田中学校へ避難する。



### 【水害時】

#### 災害の発生時の行動

- テレビ、ラジオ等により気象情報、災害情報を収集する。
- 水害、河川の氾濫が危ぶまれるときは、避難の準備等を早めに済ます。
- 「警戒レベル3」が発令されたら、避難に時間を要する高齢者等は早めの避難を開始する。
- 「警戒レベル4」の発令時は落ち着いて、直ちに全員避難する。
- 夜間又は、風雨が激しい時は、無理をせず、2階以上の安全な場所に避難する。



「避難行動要支援者」とは、大地震や風水害などの災害が発生したときなど、安全な場所への避難が必要な場合に、自分や家族の力だけでは避難できない人たちのことです。

また、避難所での生活においても大きな困難があるなど、まわりのひとの手助けや、特別な配慮が必要な人たちです。平常時に地域において見守り活動を実施している対象者は、災害時に「避難行動要支援者」となります。

避難時には隣人・友人など地域で助け合う『共助』に努めましょう。

### 1. 要援護者名簿を活用した支援の実施

「地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業」において、区役所が保有する要援護者情報を災害時の支援のために活用することに同意した要援護者に対する災害時の安否確認、避難支援の実施。

### 2. 『避難行動要支援者名簿』の作成

- 避難行動要支援者情報の収集目的
  - 災害時の安否確認、避難支援及び救出・救護等の実施。
  - 日頃の身守り活動の実施。
- 避難行動要支援者情報の収集の対象者
  - 災害時に避難支援等を必要とし、名簿登録を希望する方。
  - 災害時の状況によっては手助けが必要になる方。
- 避難行動要支援者情報の収集方法
  - 避難行動要支援者支援の取り組みについて周知し自発的に手を上げるよう呼びかける「手上げ方式」の実施。
  - 「手上げ方式」による収集状況を確認し、「同意方式」で実施。



### 3. 「避難行動要支援者名簿」の管理方法

- (管理責任) 取得した情報の管理責任者は、連合町会長、民生委員長、女性会長とする。
- (安全管理) 「避難行動要支援者」情報(名簿、登録カード、電子データ等)は施錠可能な保管庫等で厳重に管理する。
- (第三者提供) 収集した避難行動要支援者情報を本人の同意なしに、次の共有者を除き第三者に提供することはできない。  
共有者: 各町会長、各町会女性部長、民生委員、地域福祉コーディネーター、見守り相談室、福島区役所

ただし、災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、避難行動要支援者の生命及び身体を災害から保護するために特に必要があるとき等を除く。